

第2次和光市図書館サービス計画 進捗状況管理表

資料3

	施策名	5年後の目指す姿（定性的目標）	各年度の数値指標（定量的指標）	現状値	平成30年度（2018年）			平成31年度（2019年）			平成32年度（2020年）			平成33年度（2021年）			平成34年度（2022年）			出典・算出根拠
					指標	実績	達成度	指標	実績	達成度	指標	実績	達成度	指標	実績	達成度	指標	実績	達成度	
基本 策 I	1 図書資料等の収集・保存	本の収集を行い、収蔵量の範囲内で適切な蔵書管理を行うことで、市民が多くの人に触れられる図書館となる。	図書資料の蔵書数（冊）	192,431	217,000	209,192	96.4%	223,000	222,154	99.6%	229,788	217,998	94.9%	230,000	226,384	98.4%	230,000	228,183	99.2%	『和光の教育』から転記
			図書資料の満足度（％）	55.3%													60%	54.7%	91.2%	館内利用者アンケート（H33～34実施）
	2 視聴覚資料の充実	視聴覚資料を充実・活用し、その満足度が高い図書館となる。	視聴覚資料の蔵書数（冊）	9,350	9,480	9,524	100.5%	9,610	9,227	96.0%	9,740	9,199	94.4%	9,870	9,306	94.3%	10,000	9,236	92.4%	『和光の教育』から転記
視聴覚資料を活用した事業の実施回数（回）			3	3	3	100.0%	3	2	66.7%	3	3	100.0%	3	3	100.0%	3	5	166.7%	『和光の教育』のうち、視聴覚資料を使用した事業	
視聴覚資料を活用した事業の参加者満足度（％）			-	75	0	0.0%	80	0	0.0%	85	0	0.0%	90	88%	97.8%	90%	93%	103.3%	平成30年度からアンケートに（良い・普通・悪い）を入れて満足度ははかる。	
視聴覚資料の満足度（％）			18.7%													40%	19%	48.5%	館内利用者アンケート（H33～34実施）	
3 郷土・行政資料の収集・保存	郷土資料を活用することで、みんなが和光市の歴史や郷土の偉人を知り、和光市を身近に感じられる図書館となる。	郷土・行政資料の蔵書数（冊）	4,804	4,850	5,406	111.5%	5,450	5,483	100.6%	5,500	5,713	103.9%	5,550	5,897	106.3%	5,600	5,911	105.6%	『和光の教育』から転記	
		郷土・行政資料を活用した和光市を知る企画の実施回数（回）	2	2	1	50.0%	2	1	50.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	2	2	100.0%	『和光の教育』から対象事業を抜き出して合計	
基本 策 II	1 乳幼児、小学生へのサービスの充実	多くの子どもたちが本に親しみ、本を読む習慣を身につけている状態となるようサポートできる図書館となる。	乳幼児、小学生対象事業等参加人数（人）	3,608	3,690	3,734	101.2%	3,760	2,769	73.6%	3,830	1,163	30.4%	1,550	1,321	85.2%	1,550	1,487	95.9%	『和光の教育』から乳幼児・児童が参加できる事業の人数を抜き出して合計
			読書習慣がある児童の割合（小学3,5年生）（％）	75.5%													80%	79%	99.3%	
			1箇月間に読んだ本の冊数が0冊の児童の割合（％）	4.9%													2%	6%	33.3%	
	2 中学生及び高校生へのサービスの充実	多くの中高生が本に親しみ、本を読む習慣を身につけている状態となるようサポートできる図書館となる。	読書習慣がある生徒の割合（中学2年生）（％）	74.3%												80%	72%	90.4%	第4次子ども読書活動推進計画策定に伴うアンケート	
			読書習慣がある生徒の割合（高校2年生）（％）	52.3%												60%	40%	66.7%		
			1箇月間に読んだ本の冊数が0冊の生徒の割合（中学2年生）（％）	3.7%												2%	9%	22.2%		
			1箇月間に読んだ本の冊数が0冊の生徒の割合（高校2年生）（％）	37.5%												26%	44%	58.6%		
	3 成人へのサービスの充実	現役世代が利用しやすくなるような図書館となる。	館内閲覧用パソコン利用件数（件）	1,213	1,230	930	75.6%	1,250	1,180	94.4%	1,260	384	30.5%	660	645	97.7%	660	602	91.2%	カウンター統計による
			ビジネス支援関連講座の実施回数（回）	1	1	1	100.0%	2	なし	#####	2	なし	#####	2	なし	#####	2	なし	#####	『和光の教育』からビジネス支援に関する講座を抜き出して合計
			テーマ展示の実施回数（回）	24	24	24	100.0%	24	24	100.0%	24	24	100.0%	24	24	100.0%	24	24	100.0%	テーマ展示（本館・分館）の実施回数を合計
4 障害者・高齢者等へのサービスの充実	障害者や高齢者が利用しやすい図書館となる。また、図書館がアクティブシニアの活動の場の一つになる。	点字・大活字・録音図書の蔵書数（冊）	2,033	2,083	2,357	113.2%	2,407	2,336	97.1%	2,457	2,521	102.6%	2,507	2,677	106.8%	2,557	2,874	112.4%	『和光の教育』から転記	
		障害者・高齢者サービスの登録者数（人）	14	15	14	93.3%	16	13	81.3%	17	14	82.4%	18	14	77.8%	20	14	70.0%	『埼玉の公立図書館』から転記	
		60歳以上の登録件数（件）	7,919	8,069	9,012	111.7%	9,150	9,602	104.9%	9,300	10,188	109.5%	9,450	10,963	116.0%	9,600	11,688	121.8%	『和光の教育』から転記	
		音訳者養成講座実施回数（回）	4	6	6	100.0%	6	6	100.0%	6	3	50.0%	6	5	83.3%	6	6	100.0%	『和光の教育』から音訳者養成講座の実施数を抜粋	
5 外国人へのサービスの充実	外国人が利用しやすい図書館となる。	外国語資料の蔵書数（冊）	1,129	1,300	1,374	105.7%	1,400	1,466	104.7%	1,450	1,590	109.7%	1,500	1,667	111.1%	1,550	1,736	112.0%	『和光の教育』から転記	
		外国語資料の貸出冊数（冊）	1,296	1,750	1,648	94.2%	1,800	1,629	90.5%	1,850	1,824	98.6%	1,900	2,625	138.2%	1,950	2,025	103.8%	『和光の教育』から転記	
		外国人向け事業の実施回数（回）	1	1	2	200.0%	3	3	100.0%	3	2	66.7%	3	3	100.0%	3	4	133.3%	『和光の教育』から「外国人に向けた事業」の実施回数を抜粋。（ワンダーさんの読み聞かせは外国人	
基本 策 III	1 公共施設等と連携したサービスの提供	様々な機関と連携し、それぞれの強みを活かした事業を実施する図書館となる。	公民館図書室における資料貸出点数（点）	7,917	7,950	5,601	70.5%	7,960	5,645	70.9%	7,970	4,385	55.0%	5,600	8,162	145.8%	5,600	10,862	194.0%	『和光の教育』から転記
			庁内業務支援サービスの実施件数（回）	7	10	13	130.0%	14	8	57.1%	14	8	57.1%	15	19	126.7%	15	24	160.0%	庁内支援サービス統計より
			市役所以外の他の機関等と連携して行った事業の数（回）	3	3	3	100.0%	3	4	133.3%	3	1	33.3%	3	1	33.3%	3	1	33.3%	『和光の教育』から転記
	2 地域、ボランティアとの連携	地域やボランティアと連携し、市民・利用者にとって魅力的な図書館となる。	図書館ボランティア登録人数（人）	124	125	136	108.8%	140	123	87.9%	145	122	84.1%	150	128	85.3%	155	145	93.5%	団体のボランティアの構成人数と図書館サポーターの人数を合計。例年新規で登録したボランティア人
			図書館サポーターの図書館事業への参加人数（人）	137	140	91	65.0%	145	57	39.3%	150	なし	#####	155	なし	#####	160	9	5.6%	図書館事業への延べ参加人数（担当者が記録）
			ひと八コ図書館の設置数（箱）	-				1	1	100.0%	4	4	400.0%	4	3	75.0%	4	3	75.0%	ひと八コ図書館統計より転記
	3 コミュニティ情報等の収集・整理・保存・発信	市内のコミュニティ情報を知りたいときに、知ることができる図書館となる。	当該年度発行の市内情報誌等の保管数（点）	-	100	101	101.0%	100	182	182.0%	100	144	144.0%	100	173	173.0%	100	193	193.0%	市内情報誌等の保管数統計より転記
			適切に施設を保全し、みんなが満足できる環境を提供する。	館内環境の満足度（％）	69.8%												75%	62%	82.5%	館内利用者アンケート
5 電子図書館の推進	Wi-Fi等インターネット環境を整えることで、誰もが様々な情報へアクセスしやすい図書館となる。	インターネット予約件数（件）	27,885	28,000	43,198	154.3%	43,500	40,429	92.9%	43,600	39,358	90.3%	43,700	51,475	117.8%	43,800	49,007	111.9%	『和光の教育』から転記	
		図書館ホームページ閲覧件数（件）	-	48,000	59,608	124.2%	60,000	77,362	128.9%	61,000	167,524	274.6%	62,000	174,265	281.1%	63,000	178,616	283.5%	グーグルアナリティクス（予定）	
6 図書館の効率的・効果的運営及び職員の資質の向上	職員の質や意欲を向上させ、気持ちの良い対応ができる図書館となる。また、図書館運営については和光市図書館協議会により外部評価を受けながらより良く改善していく図書館となる。	貸出点数（点）	371,986	380,000	405,288	106.7%	406,000	412,282	101.5%	406,000	366,006	90.1%	406,000	426,864	105.1%	406,000	412,814	101.7%	『和光の教育』から転記	
		レファレンス件数（件）	5,670	5,700	10,216	179.2%	10,000	11,114	111.1%	10,000	9,332	93.3%	10,000	10,161	101.6%	10,000	7,760	77.6%	『和光の教育』から転記	
		入館者数（人）	272,546	285,000	297,040	104.2%	297,500	286,429	96.3%	298,000	172,617	57.9%	207,000	214,759	103.7%	207,000	220,244	106.4%	『和光の教育』から転記	
		研修参加人数（人）	102	104	148	142.3%	106	113	106.6%	108	97	89.8%	110	97	88.2%	110	79	71.8%	研修参加統計より転記	

基本施策 I 和光市らしさを意識した図書館へ

施策 1 図書資料等の収集・保存

< 5年後の目指す姿 >

本の収集を行い、収蔵量の範囲内で適切な蔵書管理を行うことで、市民が多くの情報に触れられる図書館となる。

2021年度評価：	
デジタル資料導入の検討が必要。	

取組内容・状況	(1) 適切な蔵書管理	取組年度 (2018~)
	選書会議を定期的で開催し、リクエスト資料や買替資料等を含めた選書を行い、蔵書の充実に努めた。 一般書、児童書の購入割合については予算に準じて購入している。 【次年度以降に向けた展望・課題】一般書、児童書だけでなく、洋書やバイリンガル図書、障害者用の図書、参考図書等の図書もバランスよく購入し、第三次和光市図書館サービス計画の基本施策 I 「和光らしさを意識した図書館へ」のみならず、基本施策 II 「みんなが利用しやすい図書館へ」を実現させる。	
	(2) 利用者ニーズを把握するためのアンケートの実施	取組年度 (2021~)
	漫画、洋書、CD,DVD以外のアンケートを実施することができなかった。	
	(3) 除籍資料（リサイクル図書）の活用	取組年度 (2018~)
除籍資料を活用して例年行っている『本・雑誌のリサイクル』事業は毎回多くの方が詰めかけるため、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大を受け中止した。その代替として、イベント形式ではなく館内で自由配布を行ったところ、イベント形式で行うよりリサイクル率が向上した。また分館で残ったリサイクル資料は本館で再配布を行い、できるだけ有効活用している。 【次年度以降に向けた展望・課題】イベント時の配布及び自由配布を併用し、市民が多くの情報を得られるような機会を引き続き提供していきたい。		
(4) 図書資料の保存場所等の検討・確保	取組年度 (2020~)	
本館では、返却資料用の書棚などの配置換えを行い、収容冊数を増やした。分館では新規で棚を購入し、収容冊数を増やした。図書館以外に保存場所を確保することについては検討できなかった。 【次年度以降に向けた展望・課題】図書館以外の保存場所検討については、今後の図書館のあり方を検討と合わせて行う。		

数値指標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
	図書資料（一般書・児童書・雑誌・付属品）の蔵書数	目標値（冊）		217,000	223,000	229,788	230,000
実績値		192,431	209,192	222,154	217,998	226,384	228,183
達成率			96.4%	99.6%	94.9%	98.4%	99.2%
図書資料の満足度（質）（来館者アンケート）	目標値（%）		-	-	-	-	60.0%
	実績値	55.3%	/				54.7%
	達成率		/				91.2%

評価	図書館による評価（自己評価）	
	図書資料等の収集・保存については概ね適切に行ってきた。 本館、分館ともに、引き続き図書館資料収集方針に則り、適切な資料収集を行っていく必要がある。	
	図書館協議会による評価（外部評価）	評価コメント
	内容	(1)適切である (2)概ね適切である (3)不十分である

基本施策Ⅰ 和光市らしさを意識した図書館へ

施策2 視聴覚資料の充実

<5年後の目指す姿>

視聴覚資料を充実・活用し、その満足度が高い図書館となる。

2021年度評価：	
今後もいかに本と映像をつなぐか考えてほしい。気軽に動画を見られる今、図書館で映像資料に触れる意味を考える必要がある。	

取組内容・状況	(1) 適切な蔵書管理	取組年度 (2018~)
	・評価が定まってお長く利用され得るであろう視聴覚資料を中心とし、蔵書構成、地域性、利用者のニーズを考慮して、資料を選定し収集している。 ・DVDの中央の欠損が相次いだため、ディスクに負担が少ないケースを購入・差し替えを行った。 【次年度以降に向けた展望・課題】図書館で収集・保存すべき資料を中心に選定していく。	
	(2) 利用者のニーズを把握するためのアンケートの実施	取組年度 (2018~)
・視聴覚資料 (CD・DVD) については、利用者からのリクエストを考慮すると共に、購入前に館内でアンケートを実施し、職員による選書会議において購入を決定している。 ・全職員にも業務で使用するCD・DVDのリクエストを募集した。		
状況	(3) 視聴覚資料を活用した事業の充実	取組年度 (2018~)
	・令和4年度は、大人向け上映会では『コーラス』を上映して好評を得た。また、子ども向けとしては『くまのがっこう』『映画 すみっコぐらし〜どびだす絵本とひみつのコ〜』を上映し、より幅広い年回りの児童が参加できるようにした。 ・DVD「よみうり回想サロン」を使用して、シニア向けの『市民図書館講座』を開催したところ参加者より好評を得た。 【次年度以降に向けた展望・課題】 ・今後も、利用者を楽しんでもらえるよう様々なジャンルから吟味して、上映権付DVDを選定していく。	

取組内容		現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
視聴覚資料の蔵書数 (点)	目標値 (点)		9,480	9,610	9,740	9,870	10,000
	実績値	9,350	9,524	9,227	9,199	9,306	9,236
	達成率		100.5%	96.0%	94.4%	94.3%	92.4%
視聴覚資料を活用した事業の実施回数 (回)	目標値 (回)		3	3	3	3	3
	実績値	3	3	2	3	3	5
	達成率		100.0%	66.7%	100.0%	100.0%	166.7%
視聴覚資料を活用した事業の参加者満足度 (%)	目標値 (%)		75.0%	80.0%	85.0%	90.0%	90.0%
	実績値	-				88%	93%
	達成率					97.8%	103.3%
視聴覚資料の満足度 [来館者アンケート] (%)	目標値 (%)		-	-	-	-	40.0%
	実績値	18.7%	-	-	-	-	19.4%
	達成率		-	-	-	-	48.5%
		目標値修正 R3	6		4,100	4,200	4,300
		目標値 (修正後)		6,250	6,350	6,450	6,550
ナクソス・ミュージック ライブラリーの利用者口 グイン数 (回)	目標値 (回)		4,000	4,100	4,200	4,300	4,400
	実績値	1,458	6,229	4,555	4,028	4,106	2,636
	達成率		155.7%	72.9%	98.2%	97.8%	61.3%

評価	図書館による評価 (自己評価)	
	視聴覚資料の充実については、適切に行ってきた。今後も図書館資料収集方針に則り適切な資料収集を行っていくとともに、事業の充実を図っていく必要がある。子ども向けの資料の中には、購入後1年ほどで破損してしまうケースもあるので、取り扱いに関しては更なる注意喚起が必要である。	
	図書館協議会による評価 (外部評価)	評価コメント
内容	(1)適切である	
	(2)概ね適切である	
	(3)不十分である	

基本施策Ⅰ 和光市らしさを意識した図書館へ

施策3 郷土・行政資料の収集・保存

<5年後の目指す姿>

郷土資料を活用することで、みんなが和光市の歴史や郷土の偉人を知り、和光市を身近に感じられる図書館となる。

2021年度評価：	
郷土・行政資料についてもデジタル資料との結びつきが必要。	

取 組 内 容 ・ 状 況	(1) 市民と連携・協力した郷土資料等の収集・保存	取組年度 (2018～)
	・引き続き和光市デジタルミュージアムと連携し情報の提供を行っている。市民が所有している郷土資料等については、「和光市図書館地域資料収集方針」に基づき、寄贈等による受け入れを行っている。 【次年度以降に向けた展望・課題】郷土資料のデジタル化について検討していく必要がある。	
	(2) 本市ゆかりの文化人の資料の収集・保存	取組年度 (2018～)
	・清水かつら、大石真、新坂和男といった本市ゆかりの文化人の資料については可能な限り収集・保存している。 【次年度以降に向けた展望・課題】本市ゆかりの文化人を啓発していく必要がある。	
	(3) 子ども向け郷土資料の充実	取組年度 (2018～)
・「小学生のための調べかた案内」(パスファインダー)を図書館のホームページに公開し、ダウンロードできるように環境を整えた。 【次年度以降に向けた展望・課題】更に活用を促していく。		
(4) 郷土・行政資料を活用したイベントの開催	取組年度 (2018～)	
・郷土作家で風研究者でもある新坂和男氏にちなみ、「小学生親子凧づくり講座」を開催した。館内で新坂和男氏が制作した凧の展示と原画展を実施した。 【次年度以降に向けた展望・課題】引き続き郷土・行政資料を活用した事業を検討する。		
(5) 地域の思い出を共有する企画	取組年度 (2019～)	
・下新倉分館で前年度開催された「市民図書館講座～新倉村に生まれ暮らし～」で講師を務めてくださった市民の方から、当時の新倉村の暮らしの様子を描いた絵や写真を借り受け、館内展示ケースにて展示を行った。 【次年度以降に向けた展望・課題】引き続き地域の思い出を共有する企画検討する。		

数 値 指 標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
		目標値 (修正後)			5,450	5,500	5,550
郷土・行政資料の蔵書数 (冊)	目標値 (冊)		4,850	4,900	4,950	5,000	5,050
	実績値	4,804	5,406	5,483	5,713	5,897	5,911
	達成率		111.5%	100.6%	103.9%	106.3%	105.6%
郷土・行政資料等を活用 した和光市を知る企画 (回)	目標値 (回)		2	2	2	2	2
	実績値	2	1	1	2	2	2
	達成率		50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%

評 価	図書館による評価 (自己評価)	
	郷土・行政資料の収集・保存については、行政資料や、市内団体からの発行物などを確認し、適切に行ってきた。また、市役所各課に寄贈資料の呼びかけを行っている。 基本的に郷土資料は除籍しない方針だが、特に本館は開架書架・閉架書庫ともにキャパシティが限界のため、今後は受け入れを和光市に関する資料に限定したり、県や他市の郷土資料で単館所蔵でないもの等は除籍していくなど、見直しを図る必要があるため、収集や除籍に関する基準を策定した。郷土資料に関わる講座については、本館で実施できた。	
	図書館協議会による評価 (外部評価)	評価コメント
	内容 (1)適切である (2)概ね適切である (3)不十分である	

基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ

施策1 乳幼児、小学生へのサービスの充実

<5年後の目指す姿>

多くの子どもたちが本に親しみ、本を読む習慣を身につけている状態となるようにサポートできる図書館となる。

2021年度評価：

ボランティア向けの研修やスキルアップをしてほしい。

<p>(1) 第3次和光市子ども読書活動推進計画に基づく事業の実施 【乳幼児向けの取組み】</p>	<p>取組年度 (2018～)</p>
<p>・「ブックスタート」事業は、昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染症対策の為、3部制の個別対応を行った。個別対応にしたことで、図書利用券の作成や絵本の貸出まで繋がるケースが多く見られた。出張ブックスタートは7回実施して、うち3回を総合児童センターで新規に行った。事前申込よりも当日の呼び込みによる参加者が多く見られ、周知が行き届いていない親子の参加に繋がった。</p> <p>・「あかちゃんと楽しむ絵本とわらべうた」事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き事前申込定員制にして開催した。また、本館・分館とも来年度に向けての利用者アンケートを実施し、申し込み方法や定員について検討を行った。</p> <p>・「あかちゃんタイム」事業は、引き続き2部制で実施した。今年度よりカウンターの職員も当日の進行や読み聞かせの担当に入り、全ての担当職員がサービスを行える体制にした。</p> <p>・「土曜のおはなし会」については、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、予約不要の自由参加型に戻して実施した。おはなし会の時間に合わせて来館し、参加をする親子やきょうだいも複数見られた。</p> <p>【次年度以降に向けた展望・課題】</p> <p>・参加人数などの制限を緩和していく方向で事業を実施するが、「あかちゃんと楽しむ絵本とわらべうた」や「ブックスタート」など一部の乳幼児向け事業については、より安心して参加してもらう為、予約制を継続する。引き続き、TwitterやLINEを活用して事業の告知を行い、参加者の増加に繋げたい。</p> <p>・主力であるボランティア団体会員の高齢化が進んでいることから、新規ボランティア会員の確保が急務である。併せて、質の高いサービスを提供する目的として、職員とボランティア向けの研修を定期的実施したい。</p>	
<p>(2) 第3次和光市子ども読書活動推進計画に基づく事業の実施 【小学生向けの取組み】</p>	<p>取組年度 (2018～)</p>

取組内容・状況

・市内小学校からの図書館見学は10月から11月に依頼が集中したが、実施内容など出来る限り各校の要望に応じて対応した。分館は1クラスを2グループに分けて人数を減らし実施した。読み聞かせやブックトークについては依頼が無く学校訪問は実施しなかった。

・団体貸出、テーマ本貸出向けの資料は、児童に手に取って貰えるように新しい本を購入して、順次古い本と入れ替えを行っている。また、学校教育課と連携し図書館アドバイザー研修を継続して実施した。

・市内小学校の林間学校での旅行先が変更になったため、「小学生のための調べかた案内」（パスファインダー）の林間学校の項目の内容見直しを行った。他の項目についても年に1度内容の確認、修正を行っている。

・本館では、7月に小学4年生以上を対象に昨年度から開始した「なつやすみ 図書館のおしごと体験」を実施し、司書の仕事を体験してもらった。恒例の8月の「宿題教室」では、2日間で延べ30人を超える小学生が宿題に取り組む姿が見られた。また「夏のこどもの集い」において、読み聞かせや影絵等のイベントを実施した。その他、英語絵本の読み聞かせ、小学校（元小学校教諭含む）教諭によるブックトーク、外部講師による「子どもの科学」等を実施した。「子どもの科学」の化石をテーマにした回では、募集定員12名のところ応募者数が7倍を超えた。

・分館では、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受け中止した「絵本の世界を楽しもう」（読み聞かせと絵本にちなんだ工作）を今年度は実施した。昨年度は11回中3回のみで開催となっていた「ひまわりおはなし会」は今年度は全回開催した。また、「ひまわりおはなし会」は学童クラブからの参加がコロナ禍で停止して参加者の獲得が課題だったが、今年度から複合施設であることを活かして同じ施設内にある下新倉児童館へ出張し、分館と下新倉児童館での隔月開催を実現させた。そのため、児童館や学童クラブを利用する児童が多く参加するようになり、図書館開催日にも学童クラブからの参加者が集まるようになった。本の紹介を行う「ぶっくわーど」は講師が1名辞退したため開催数を2回から1回に減らし、代替事業として、分館初となる英語のおはなし会「Peek'n See!（ピークンシー!）」を10月に実施した。「子供の科学」は募集人数を減らしたうえで予定通りの開催となった。夏休みの時期には「自由研究のタネ」を図書館ホームページに公開し、その中で「子ども司書体験」を募集した。また12月には「クリスマス工作」（色画用紙と毛糸で作るくつついたバッグ）を実施した。春休みの時期に例年開催している「ぬいぐるみのおとまり会」は、コロナ前と同じ内容で開催した。事業以外では、児童コーナーの棚を増設し、より多くの良書を提供できる環境を整えた。学校支援の面では、下新倉小児童への調べ学習支援の体制を継続して行い、授業内での図書館利用、長期休暇前の図書の貸出、休み時間貸出や従来のテーマ本の他に毎月テーマごとの貸出（各学年1つのテーマを決め、月初めに全学年へ貸出）、団体貸出は継続して行っている。また、3月からは朝の読み聞かせも再開された。

【次年度以降に向けた展望・課題】

・感染対策を考慮しつつ、事業の参加人数、募集人数の緩和を図り、より多くの方に安心して参加してもらえる環境づくりを行う必要がある。その際、コロナ禍で図書館離れた層に向けての周知も必要となる。

・募集定員をオーバーして事業参加できなかった児童に向けたフォロー（ブックリストの配布や資料の館内展示等）を行っているが、来館できない児童にも内容が分かるように開催後には報告と共に当日配布資料をホームページに掲載するよう検討したい。

・分館で英語のおはなし会を実現させたが、講師・参加者共に好評で開催数を増やしてほしいという要望があった。次年度は開催数を増やし、分館で英語のおはなし会が定着するように周知を工夫したい。

・職員とボランティアによる小学校訪問（読み聞かせとブックトーク）が2020年以降実施されていない。図書館に来る機会を持つことが困難な小学生に向けて本の魅力を伝える働きかけをする機会が少なくなっている。

取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022	
目標値修正R3.6					1,550	1,550	
乳幼児・小学生対象事業等参加人数(人)	目標値(人)		3,690	3,760	3,830	3,900	3,970
	実績値	3,608	3,734	2,769	1,163	1,321	1,487
	達成率		101.2%	73.6%	30.4%	85.2%	95.9%
読書習慣がある児童の割合[小学3・5年生](%)	目標値(%)		-	-	-	-	80
	実績値	75.5	-	-	-	-	79.4
	達成率		-	-	-	-	99.3%
1箇月間に読んだ本の冊数が0冊の児童の割合[小学3・5年生](%)	目標値(%)		-	-	-	-	2
	実績値	4.9	-	-	-	-	6
	達成率		-	-	-	-	33.3%

評価	評価コメント
図書館による評価(自己評価)	適切に行ってきている。コロナ禍で制約のある中、図書館の果たすべき役割を考え、事前申込制や定員を設けるなど可能な限り事業を行った。検温や消毒など事業を開催するにあたり職員の負担は増えたが、「ひまわりおはなし会」での児童館との連携開始や、新規事業として「英語のおはなし会」を開始するなど新たな取り組みを行い、事業を通じて乳幼児や小学生へ本を届けることができたと考えている。
図書館協議会による評価(外部評価)	評価コメント
内容	(1)適切である (2)概ね適切である (3)不十分である

基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ

施策2 中学生及び高校生へのサービスの充実

<5年後の目指す姿>

多くの中高生が本に親しみ、本を読む習慣を身に着けている状態となるようにサポートできる図書館となる。

2021年度評価：	進路について考える講座や本に興味のない子にも本を手にとってもらえるような活動をしてほしい。	
取組内容・状況	(1) 第3次和光市子ども読書活動推進計画に基づく事業の実施【ヤングアダルトコーナー等の充実・中高生向け講座の実施・学校における取組への支援】	取組年度（2018～）
	<ul style="list-style-type: none"> ・9月に市内中学生によるビブリオバトルを実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり応募者がおらず、中止となった。 ・11月に市内中高生を対象に、市民図書館講座「週間少年ジャンプ編集部が語る！ジャンプ編集部の仕事」を実施した。 ・中学校及び市内高校の授業等で必要な資料をテーマ本として貸出を行い、授業のサポートを行った。 ・中高生向けの事業として、分館開催「図書館クラブ」（8月に本の手書きPOPづくり、12月に本の福袋づくり）を開催し、希望者にはボランティア証明書を発行した。また、8月の開催時には希望者には在宅による参加を選択できるようにした。 ・中高生向けの図書館情報紙「YA通信」を年に4回発行した。青少年読書感想文全国コンクール課題図書、図書館オススメの本、新着漫画等の紹介、中高生向けの講座のお知らせや、年間ベストリーディング等を掲載した。 ・毎年行われる埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本のフェア開催に伴い、ポスター及びPOPシートをYA棚に展示した。 ・市内高校より依頼を受け、保育授業における絵本の読み聞かせ講習の講師として、図書館で活動しているボランティアの方々を派遣した。 ・本館YA展示コーナーにて、市内中学生が授業で作成した自作の絵本の展示を行った。 ・本館YAコーナーに「岩波ジュニア新書」コーナーを設置した。 <p>【次年度以降に向けた展望・課題】コロナ禍でも参加できる事業の企画と、参加者の確保が必要である。</p>	

数値指標	取組内容	現状値(2016)					
		2016	2018	2019	2020	2021	2022
	読書習慣がある生徒の割合[中学2年生] (%)	74.3	-	-	-	-	80
	目標値 (%)		-	-	-	-	80
	実績値		-	-	-	-	72
	達成率		-	-	-	-	90.4%
	読書習慣がある生徒の割合[高校2年生] (%)	52.3	-	-	-	-	60
	目標値 (%)		-	-	-	-	60
	実績値		-	-	-	-	40
	達成率		-	-	-	-	66.7%
	1箇月間に読んだ本の冊数が0冊の生徒の割合[中学2年生] (%)	3.7	-	-	-	-	9
	目標値 (%)		-	-	-	-	2
	実績値		-	-	-	-	9
	達成率		-	-	-	-	22.2%
	1箇月間に読んだ本の冊数が0冊の生徒の割合[高校2年生] (%)	37.5	-	-	-	-	26
	目標値 (%)		-	-	-	-	26
	実績値		-	-	-	-	44
	達成率		-	-	-	-	58.6%
	目標値 (修正後)		3	4	4	4	4
	中高生向けイベントの実施回数 (回)	2	3	3	3	3	3
	目標値 (回)		3	3	3	3	3
	実績値		4	3	4	3	3
	達成率		133%	75%	100%	75%	75%

評価	図書館による評価（自己評価）	
	適切に行ってきている。中高生へ向けた講座を企画・開催することができた。	
	図書館協議会による評価（外部評価）	評価コメント
	内容 (1)適切である (2)概ね適切である (3)不十分である	

基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ

施策3 成人へのサービスの充実

< 5年後の目指す姿 >

現役世代が利用したくなるような図書館となる。

2021年度評価：	
ビジネス書の充実など現役世代の利用を増やすことが課題。	

取 組 内 容 ・ 状 況	(1) 現役世代の利用率向上のための取組の実施	取組年度 (2018~)
	<ul style="list-style-type: none"> ・外出を控えたり来館時間が取れない利用者のために、有料宅配サービスを引き続き実施した。 ・毎月テーマを変えて展示を実施し、ホームページ等で周知を図った。 ・本館では引き続き料理本のテーマ展示コーナーを作り、利用の促進を図った。 ・本館のビジネス書の充実のため、積極的な選書を実施した。 ・分館ではSDGsの展示を引き続き実施した。 【次年度以降に向けた展望・課題】 これからも利用率向上のため展示等工夫していく。	
	(2) 館内閲覧用パソコンの充実	取組年度 (2018~)
	<ul style="list-style-type: none"> ・館内閲覧用パソコンを本館・下新倉分館に設置し、希望者がいつでも利用できるようにしている。 ・「D1-Law.com」(法情報)「ヨミダス歴史館」(読売新聞)「ナクソスマュージックライブラリー」(音楽)「ジャパンナレッジ」(百科事典)、官報情報検索サービス(官報)の5つのオンラインデータベースを導入し、館内利用者用パソコンや自宅(ナクソスマュージックライブラリーのみ)において利用できるように設定している。 【次年度以降に向けた展望・課題】 今後、オンラインデータサービスの周知を引き続き行い、利用者数の増加につなげたい。	
	(3) 放送大学再視聴施設の充実	取組年度 (2018~)
	<ul style="list-style-type: none"> ・57科目という科目数は変わらないが、講座の内容は時代のニーズを反映したものとなった。しかし、利用者延べ人数及び利用者実人数が去年度よりも減少してしまった。 【次年度以降に向けた展望・課題】 これからも利用者のニーズを的確に把握した魅力的な科目の導入の検討はもちろんだが、もっと「放送大学再視聴施設」をアピールしていく。	
	(4) カフェの設置の検討	取組年度 (2018~)
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に、①利用者に対するモニタリングアンケートの実施、②他市の事例調査、③講座の作品講演会を兼ねた「お茶会」の実験開催を検討した。カフェについては大手飲食業に類するサービスを目指すのではなく、図書館の事業の中で参加者同士が交流する場としての「図書館ならではのカフェ的な場」を目指し、講座後のお茶会等を検討したが、前年度に引き続きコロナ禍ということで、飲食については実施することができなかった。 【次年度以降に向けた展望・課題】 新型コロナウイルス感染症の規制の緩和からくる状況を確認しながら、今後、複合施設と調整を図りながら合同開催イベントで、屋外の交流広場等を会場としたカフェの実施ができる時期を慎重に検討する。		

取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022	
							目標値修正R3.6
館内閲覧用パソコン利用 件数(件)	目標値(件)		1,230	1,250	1,260	1,270	1,280
	実績値	1,213	930	1,180	384	645	602
	達成率		75.6%	94.4%	30.5%	97.7%	91.2%
ビジネス支援関連講座の 実施回数(回)	目標値(回)		1	2	2	2	2
	実績値	1	1	なし	なし	なし	なし
	達成率		100.0%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
テーマ展示の実施回数 (回)	目標値(回)		24	24	24	24	24
	実績値	24	24	24	24	24	24
	達成率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

評 価	図書館による評価(自己評価)	
	概ね適切に行っている。図書館の利用が少ない世代のニーズの掘り起こしについては、電子図書館の導入なども含め、今後も引き続き検討する必要がある。	
	図書館協議会による評価(外部評価)	評価コメント
内 容	(1)適切である	
	(2)概ね適切である	
	(3)不十分である	

基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ

施策4 障害者・高齢者等へのサービスの充実

< 5年後の目指す姿 >

障害者や高齢者が利用しやすい図書館となる。また、図書館がアクティブシニアの活動の場の一つになる。

2021年度評価：	
特になし	

取 組 内 容 ・ 状 況	(1) 障害等に応じたサービスの実施	取組年度 (2018~)
	・ 郵送貸出サービス利用件数：10件 (3名) 【本館のみ】 ・ LLブック (やさしく読みやすい本) 受入数：本館3冊、分館5冊 ・ 大活字本受入数：本館266冊、分館は0冊 【次年度以降に向けた展望・課題】 サピエの導入と利用の促進。大活字本の受入について、本館・分館で分担したい。	
	(2) 市役所関係各課との連携によるニーズの把握及び事業の実施	取組年度 (2018~)
	・ ニーズ調査を行うことができなかった。 【次年度以降に向けた展望・課題】 ニーズ調査に努める。	
取 組 内 容 ・ 状 況	(3) 対面朗読のための音訳者支援	取組年度 (2018~)
	・ 音訳講師を招き、『音訳者養成講座』を6回実施。 ・ 音訳サークル「なごみ」が活動しやすいよう、図書館の会議室にて定例会 (自主練習) の場を設けている。	
	(4) アクティブシニア向けサービスの充実	取組年度 (2018~)
	・ 『市民図書館講座』にて読売新聞記者を進行役に迎え、読売新聞制作DVD「よみうり回想サロン」を使い、昭和40年代の新聞記事や写真、ニュース動画などを題材にクイズや思い出話で過去を振り返る「回想法」を参加者に体験していただいた。 ・ 分館では「おとなの朗読会 (7/24、11/13、3/12)」を昨年に引き続き定員制 (当日の先着15名) で開催した。参加者の多くがリピーターの方で朗読会が定着してきていることが伺えた。 「おとなの楽しい音読教室」は、昨年に続き参加者を募っての開催は難しかったため、今年度も講師の協力を得て動画を作成して配信という形で実施した。YouTubeや図書館ホームページから視聴可能 (配信月：6月、10月、3月) 【次年度以降に向けた展望・課題】 和光市の歴史を学べるような講座を企画したい。	

	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
数 値 指 標	目標値 (修正後)			2,407	2,457	2,507	2,557
	点字・大活字・録音図書 の蔵書冊数 (冊)	2,033	2,083	2,133	2,183	2,233	2,250
	実績値		2,357	2,336	2,521	2,677	2,874
	達成率		113.2%	97.1%	102.6%	106.8%	112.4%
	目標値 (人)		15	16	17	18	20
	障害者・高齢者サービス 登録者数 (人)	14	14	13	14	14	14
	実績値						
	達成率		93.3%	81.3%	82.4%	77.8%	70.0%
	目標値 (修正後)			9,150	9,300	9,450	9,600
	60歳以上の登録件数 (件) (和光市)	7,919	8,069	8,219	8,369	8,519	8,669
	実績値		9,012	9,602	10,188	10,963	11,688
	達成率		111.7%	104.9%	109.5%	116.0%	121.8%
目標値 (回)		6	6	6	6	6	
音訳者養成講座実施回数 (回)	4	6	6	3	5	6	
実績値							
達成率		100.0%	100.0%	50.0%	83.3%	100.0%	

評 価	図書館による評価 (自己評価)	
	障害者・高齢者へのサービスの充実については、上記の取組状況のとおり適切に行っている。 なお、障害者を対象としているニーズ調査の実施ができなかったため、実施できるよう努める。	
	図書館協議会による評価 (外部評価)	評価コメント
	(1) 適切である (2) 概ね適切である (3) 不十分である	

基本施策Ⅱ みんなが利用しやすい図書館へ

施策5 外国人へのサービスの充実

<5年後の目指す姿>

外国人が利用しやすい図書館となる。

2021年度評価:	
バイリンガル絵本のコーナー設置や、ホームページにやさしいにほんごのページを作るなどの取組は良かった。外国人へのサービスは今後重要になるので、さらに取組をすすめてほしい。	
取組内容・状況	(1) 市役所関係各課等との連携 取組年度 (2018~) ・中央公民館で行われている日本語教室の生徒へのアンケートを行い、必要とされているサービスの調査と図書館のPR、洋書購入アンケートを行う予定だったが、昨年度に続き新型コロナウイルス感染拡大のため実施できなかった。一方で洋書購入に関しては、図書館アドバイザーを通じて、市内小中学校のALTへのアンケートを行い、要望を聞くことができた。 【次年度に向けた展望・課題】 今後、状況を見て日本語教室でのアンケートを実施しながら、図書館アドバイザーを通じての市内小中学校のALTへのアンケートも継続していきたい。
	(2) 外国人への情報提供と外国語資料の収集・保存 取組年度 (2018~) ・子ども向けには、ALTから要望のあった資料のほか、著名な賞の受賞作品を中心に選書を行い、英語・中国語・韓国語の資料を購入した。今年度は特に和光市図書館のおすすめ絵本リストに掲載している絵本の中国語版・韓国語版の購入に力を入れた。大人向けには、洋書購入アンケートでのリクエストやベストセラー作品、著名な賞の受賞作品など、英語・中国語・韓国語の資料を購入した。いずれも両方の文化に興味を持ってもらえるよう、日本人作家の作品や日本語に翻訳されている作品（所蔵のあるもの）も集め、対訳で読めるよう選書を工夫している。また、今年度は日本での生活や文化を理解するための資料など、多文化共生の視点からの選書に力を入れた。 ・昨年度から掲載を始めた図書館ホームページ内の「やさしいにほんご」記事を継続して更新している。利用方法の変更については、日本語でのアナウンスと同じタイミングで更新を行い、外国人利用者にも最新情報を届けるようにしている。 ・2018年度より復活した本館での英語絵本の読み聞かせは2022年度も継続して行っている。 ・昨年度の課題となっていた分館で英語絵本の読み聞かせ「Peek'n See!」を、今年度から開始することができた。絵本の読み聞かせだけでなく外国の文化についても紹介し、関連本の展示や工作なども行った。 ・本館の棚を整理し、姉妹都市ロングビュー市寄贈の図書とグッズを展示するスペースを設けた。 ・本館の日本語学習コーナーを新装し、より利用しやすいよう棚を分けた。 【次年度以降に向けた展望・課題】 ・4年連続新型コロナウイルス感染症拡大を受けて実施できなかったアンケートの実施。 ・現在の「洋書コーナー」から「多文化コーナー」へ発展させ、市内在住外国人との相互理解を深めるような多文化サービスの提供を目指したい。

取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
外国語資料の蔵書数			1,400	1,450	1,500	1,550
目標値 (修正後)						
目標値 (冊)		1,300	1,310	1,320	1,330	1,340
実績値 (冊)	1,129	1,374	1,466	1,590	1,667	1,736
達成率		105.7%	104.7%	109.7%	111.1%	112.0%
外国語資料の貸出冊数						
目標値 (修正後)		1,750	1,800	1,850	1,900	1,950
目標値 (冊)		1,300	1,310	1,320	1,330	1,340
実績値 (冊)	1,296	1,648	1,629	1,824	2,625	2,025
達成率		94.2%	90.5%	98.6%	138.2%	103.8%
外国人向け事業の実施回数 (回)						
目標値 (回)		1	2	2	2	2
実績値 (回)	1	2	3	2	3	4
達成率		200.0%	100.0%	66.7%	100.0%	133.3%

評価	図書館による評価 (自己評価)	
	外国人へのサービスについては、概ね適切に行ってきている。図書館に来館したことのない外国人への周知も兼ねたアンケートが2022年度も実施できなかったことが残念だが、今後状況を見て行いたい。外国人に一番アプローチできるのは転入時だと思われるので、今後は戸籍住民課などと協力して、図書館の存在をまずは知ってもらうことに力を入れたい。それと同時に「洋書コーナー」から「多文化コーナー」へ発展させ、市内在住外国人との相互理解を深めるような多文化サービスの提供を目指したい。	
	図書館協議会による評価 (外部評価)	評価コメント
内容	(1)適切である (2)概ね適切である (3)不十分である	

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策1 公共施設等と連携したサービスの提供

<5年後の目指す姿>

様々な機関と連携し、それぞれの強みを活かした事業を実施する図書館となる。

2021年度評価：											
今後も連携しながら進めてほしい。											
取組内容・状況	(1) 公民館図書室の利用方法の検討・実施	取組年度 (2018～)									
	・公民館図書室は図書の受け取り場所としての意義もあることから、利用方法については引き続き検討を行う。 ・広報紙等に各公民館図書室の特色を掲載するとともに、テーマ展示を行い、利用の促進を図った。 【次年度以降に向けた展望・課題】 公民館と連携して利用の促進を図る。										
	(2) 市内の機関(国等)や企業、医療機関等との連携	取組年度 (2018～)									
	・新型コロナウイルス感染症の影響により、連携を取るのが難しかった。 【次年度以降に向けた展望・課題】 図書館まつり協力の依頼等実施していく。										
	(3) 県内公共図書館、近隣図書館との連携等	取組年度 (2018～)									
・相互貸借による連携を行い、4,171冊の資料提供を受け、和光市から2,285冊の貸出を行った。 ・朝霞地区四市図書館連絡会を開催して情報を共有している。 ・協力車を活用し、県内の図書館に「図書館だより」などの配布物を依頼、連携を図っている。 ・協力車調査により、県内図書館の諸課題について相互に状況を確認している。(合計6件) 【次年度以降に向けた展望・課題】 今後も4市との情報交換を実施していく。											
(4) 市内各公共施設との連携によるサービスの充実	取組年度 (2018～)										
・分館で開催している小学生向け「ひまわりおはなし会」を、今年度より隔月で下新倉児童館へ出張して行っている。 児童館利用者だけでなく、隣室である下新倉学童クラブからも多くの児童が参加するようになり、以前より多くの児童に本の楽しさを知ってもらえるようになった。 ・分館・下新倉児童館・下新倉学童クラブ共催で次年度にふれあいまつりを開催するにあたり、各施設が連携し、利用者促進のために準備を行った。 【次年度以降に向けた展望・課題】 今後も施設との連携を進めていきたい。											
(5) 市役所関係各課等との連携による事業等の充実	取組年度 (2018～)										
・行政サービスを提供する上で参考となる資料の貸出やレファレンス、業務遂行上の課題が解決できるよう「庁内業務支援サービス」を実施。令和4年度は、保健福祉部等から24件の依頼があった。 ・各課より依頼のあったテーマに沿った、図書館資料の展示を行った。(保健福祉部「こころの健康づくり」「がん検診を受けましょう」) ・分館「市民図書館講座」において、和光市消費生活相談員を講師に招き「守ろう自分の財産を！～詐欺的商法にあわないために～」を開催し、特殊詐欺や詐欺的商法にあわないための講座を大人を対象に行った。 【次年度以降に向けた展望・課題】 今後とも市内公共施設との連携を深めていきたい。サービスの周知に努める。											
数値指標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022				
						5,600	5,600	目標値修正R3.6			
	公民館図書室における貸出点数(点)		7,917	7,950	7,960	7,970	7,980	8,000			
				5,601	5,645	4,385	8,162	10,862			
				70.5%	70.9%	55.0%	145.8%	194.0%			
				目標値(修正後)		14	14	15	15		
	庁内業務支援サービスの実施件数(件)		7	10	11	12	13	14			
				13	8	8	19	24			
				130.0%	57.1%	57.1%	126.7%	160.0%			
	市役所以外の機関と連携して行った事業の数(件)		3	3	3	3	3	3			
			3	4	1	1	1				
			100.0%	133.3%	33.3%	33.3%	33.3%				
評価	図書館による評価(自己評価)										
	公共施設等と連携したサービスの提供については概ね適切に行ってきた。庁内で事業実施の周知として、図書館を利用して関連本も併せて周知を行うことが増えた。令和4年度も「ふれあいまつり」「サマーフェスタ」などが中止となったため、市役所以外の機関と連携した事業が減少した。また、公民館での予約本の受け取りが増えている。今後も周知を図っていく。										
	図書館協議会による評価(外部評価)					評価コメント					
内容	(1)適切である (2)概ね適切である (3)不十分である										

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策2 地域、ボランティアとの連携

<5年後の目指す姿>

地域やボランティアと連携し、市民・利用者にとって魅力的な図書館となる。

2021年度評価:								
ボランティアへの研修を行う必要がある。								
取組内容・状況	(1) 図書館ボランティアの育成・支援、連携	取組年度 (2018~)						
	・読み聞かせに携わるボランティアの育成を目的として、図書館で活動しているボランティアと市内で読み聞かせ活動をしているボランティアの方に加え、ボランティアに興味をお持ちの方を対象に、読み聞かせの講義と交流会を兼ねた「読み聞かせボランティア交流会」を開催した。 ・図書館サポーターの方によるキッズルームの壁面展示を行った。 ・図書館サポーターの方によるおすすめ本企画展示に取り組んだ。 【次年度以降に向けた展望・課題】今後も定期的な交流や研修、スキルアップの機会を提供し、連携を行っていきたい。							
	(2) 地域等との連携による図書館事業の充実	取組年度 (2018~)						
・分館事業としては、市内で活動するボランティアグループによる「おとなの朗読会」(3回)を実施した。リピーターの参加者が定着してきている。「おとなの楽しい音読教室」については、市内在住の講師(ヴォイストレーナー)を招いて音読教室を開催しているが、今年度も参加者を募っての開催が難しかったため、昨年度に引き続き講師の協力のもと録画した動画の配信(3回)を実施した。 ・また、中高生を対象とした「図書館クラブ」(2回)事業において、市内中学、高校と連携して講座の参加者を募った。 ・市内NPO法人「みんなで元気」による作品展示を行った。 【次年度以降に向けた展望・課題】新型コロナウイルス感染症の関係でボードゲームが実施できなかったため、引き続き開催に向け検討する。								
		取組年度 (2018~)						
・分館では、中高生を対象とした「図書館クラブ」において、参加した生徒のおすすめの本を「ひと八コ図書館」事業と協働で実施した。 ・地域情報の発信や活動のPRを目的とし、市民や市内で活動する個人または団体を対象に「みんなのひと八コ図書館」を実施し、おすすめする本の展示やパンフレットの設置、展示した本のブックリストの作成を行なった。2022年度は3団体の参加があった。 【次年度以降に向けた展望・課題】ひと八コ図書館を広く周知し、参加者を募り継続する。								
数値指標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022	
		目標値(修正後)		140	145	150	155	
	図書館ボランティア登録人数(人)	目標値(人)		125	130	135	140	145
		実績値	124	136	123	122	128	145
		達成率		108.8%	87.9%	84.1%	85.3%	93.5%
	図書館サポーターの図書館事業への参加人数(人)	目標値(人)		140	145	150	155	160
		実績値	137	91	57	なし	なし	9
		達成率		65.0%	39.3%	#VALUE!	#VALUE!	5.6%
		目標値修正R3.6				4	4	4
	ひと八コ図書館の設置数(箱)	目標値(箱)		-	1	1	1	1
実績値		-	-	1	4	3	3	
達成率			-	100.0%	400.0%	75.0%	75.0%	
評価	図書館による評価(自己評価)							
	地域、ボランティアとの連携については、適切に行ってきている。ただし新型コロナウイルス感染拡大の懸念からボランティアの意向で開催を見合せている事業については、次年度開催を検討する。							
	図書館協議会による評価(外部評価)			評価コメント				
	内容	(1)適切である (2)概ね適切である (3)不十分である						

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策3 コミュニティ情報等の収集・整理・保存・発信

<5年後の目指す姿>

市内のコミュニティ情報を知りたいときに、知ることができる図書館となる。

2021年度評価：	数値目標を達成している。
-----------	--------------

取 組 内 容 ・ 状 況	(1) コミュニティ情報サービスの充実	取組年度 (2018~)
	・市内団体が開催するイベント及び、市内施設を会場とするイベントにおいて、チラシの配架やポスターの掲示を行うほか、郷土資料として当該資料のファイル保存を行っている。 ・市内の地域情報の発信を目的とし、市民や市内で活動する個人または団体を対象に、自身の活動のPRができる「みんなのひと八〇図書館」を実施した。その他、市内NPO法人「みんなで元気」による企画で集まった作品「生きる」を図書館でも(本館・分館)展示を行い、関連するチラシなども設置した。 【次年度以降に向けた展望・課題】見やすくわかりやすい掲示に引き続き取り組む。	
	(2) 市役所発行のチラシ等の配布	取組年度 (2018~)
・各課より依頼のあったパブリックコメントの募集や、資料の掲示については、館内掲示板に周知している。また、各課へ図書館へ寄贈する資料がないか呼びかけを行い、届いた資料の登録、保管を行った。 【次年度以降に向けた展望・課題】見やすくわかりやすい掲示に引き続き取り組む。		

数 値 指 標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
		当該年度発行の市内情報		100	100	100	100
	紙等の保管数(点)	-	101	182	144	173	193
			101.0%	182.0%	144.0%	173.0%	193.0%

評 価	図書館による評価(自己評価)	
	適切に行ってきている。本館・分館が相互に協力し、効率的にチラシ等を収集することができた。今後はポスター、チラシの配置の仕方を工夫し、より見やすくしていく予定となっている。 図書館公式Twitterを活用し、迅速な情報発信を行えるようになった。	
	図書館協議会による評価(外部評価)	評価コメント
内 容	(1)適切である	
(2)概ね適切である		
(3)不十分である		

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策4 図書館施設等の保全

<5年後の目指す姿>

適切に施設を保全し、みんなが満足できる環境を提供できる図書館となる。

2021年度評価：	
新館建設も含めた図書館のあり方を検討する必要がある。	

取 組 内 容 ・ 状 況	(1) 適切な施設の保全	取組年度 (2018~)
	<p>・本館は開館から39年が経過しており、昨年度中はトイレの修繕が多く発生するなど、館内の至る所に老朽化の影響がみられる。そのため、現有施設設備を維持していくことが重要である。</p> <p>・第3次和光市図書館サービス計画として、新館建設の検討や大規模修繕を行い、中長期的には、市各部署と連携しながら、具体的な検討を行う。</p> <p>【次年度以降に向けた展望・課題】</p> <p>引き続き館内施設の整備に努めるとともに、今後の図書館のあり方を検討していく。</p>	

数 値 指 標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
	館内の環境の満足度(公 館内の環境の満足度(公 民館含む) [来館者アン ケート] (%)						
	目標値 (%)		—	—	—	—	75%
	実績値	69.8%	—	—	—	—	62%
	達成率		—	—	—	—	82.5%

評 価	図書館による評価 (自己評価)	
	図書館施設等の保全については適切に行ってきたが、予防的保全にかかる予算を確保することが困難であるため、施設・設備に修繕等の必要が生じた際は、その都度補正予算等で対応せざるを得ないのが現状である。 施設の老朽化による影響が随所に見られるため、現状の状態を維持及び新館建設を具体的に検討していく。	
	図書館協議会による評価 (外部評価)	評価コメント
	(1)適切である (2)概ね適切である (3)不十分である	

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策5 電子図書館の推進

<5年後の目指す姿>

Wi-Fi等インターネット環境を整えることで、誰もが様々な情報へアクセスしやすい図書館となる。

2021年度評価：
電子書籍の導入検討が必要。ツイッターフォロワー数を増やすようPRし、充実させてほしい。

取組内容・状況	(1) 図書館管理システムの充実	取組年度 (2018~)
	・2020年1月下旬にシステム更新を行い、利用者自身がWeb上で手続きできるサービス（セット予約、パスワードの変更や再設定等）が増えて利便性があがった。学校図書館システムも同時に更新を行い、児童の読書意欲が高まる仕掛けづくり（読書数に応じて画面内にメダルが表示される）が行われた。適宜システム業者との調整を行い充実を図った。 【次年度以降に向けた展望・課題】新図書館システムを活かしたサービスの充実に努める。	
	(2) 電子書籍の導入の検討	取組年度 (2018~)
	・新型コロナウイルス感染症拡大防止により、来館せずに書籍を提供するニーズが高まっており予算要求したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による厳しい財政状況の中、全庁的に新規事業を実施することが困難であるため、不採択となった。 【次年度以降に向けた展望・課題】引き続き予算要求を行いたい。予算が確保できた場合、導入後は書籍を購入し続ける必要があり、継続的な予算確保が必要となるため、効果的な導入方法を検討していきたい。	
取組内容・状況	(3) 館内インターネット環境の整備	取組年度 (2018~)
	・課題となっていた分館での公衆無線LAN (Wi-F) i導入が、今年度5月に実現した。これで本館・分館共に公衆無線LANが利用可能となった。 【次年度以降に向けた展望・課題】継続的な予算確保に努める	
取組内容・状況	(4) 図書館ホームページの充実	取組年度 (2018~)
	・図書館の最新情報を素早く発信することができるよう、ホームページ・和光市Twitter・和光市LINE・和光市図書館Twitter・YouTubeを活用し、それぞれホームページからアクセスできるようリンクを貼り、周知を効果的に行った。 ・感染症対策として館内滞在時間を少なくするためにも、インターネット予約のニーズが高まっていることから、「スマホで簡単！WEB予約講座」を本館で開催した。講座終了後、講座で配布した資料をホームページからダウンロードできるようにし、参加できなかった方にも公開している。 ・昨年度より開始したお知らせページ内の「やさしいにほんご」の記事では、外国人利用者にもタイムラグなく最新情報を届けるよう意識し、利用案内について日本語でのアナウンスとほぼ同時に更新行っている。 ・図書館で行う各種アンケートについて、従来の紙で配布するアンケートのほか、図書館ホームページ経由でのインターネットによるアンケートも同時に行うなどして利用者の利便性の向上を目指した。 【次年度以降に向けた展望・課題】ホームページについては、利用者が来館したくなるような最新情報を引き続き素早く発信していきたい。	

数値指標	取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
		目標値 (修正後)			43,500	43,600	43,700
インターネット予約件数 (件)	目標値 (件)		28,000	28,500	29,000	29,500	30,000
	実績値	27,885	43,198	40,429	39,358	51,475	49,007
	達成率		154.3%	92.9%	90.3%	117.8%	111.9%
図書館ホームページ閲覧件数	目標値 (修正後)		60,000	61,000	62,000	63,000	63,000
	目標値 (件)		48,000	49,000	51,000	52,000	53,000
	実績値	-	59,608	77,362	167,524	174,265	178,616
	達成率		124.2%	128.9%	274.6%	281.1%	283.5%

評価	図書館による評価 (自己評価)	
	ホームページを含むシステム更新については適切に行ってきた。ホームページ以外の情報発信ツールも導入し、最新情報を素早く積極的に発信している。電子書籍の導入については厳しい財政状況の中、不採択となったが引き続き要求していきたい。	
	図書館協議会による評価 (外部評価)	評価コメント
内容	(1)適切である (2)概ね適切である (3)不十分である	

基本施策Ⅲ 居心地の良い図書館へ

施策6 図書館の効率的・効果的運営及び職員の資質の向上

< 5年後の目指す姿 >

職員の質や意識を向上させ、気持ちの良い対応ができる図書館となる。また、図書館運営については和光市図書館協議会により外部評価を受けながら、より良く改善していく図書館となる。

2021年度評価：	
司書資格を持っている人は意外と思うられるので、活用できると良いのではないか。	

取組内容・状況	(1) 効率的効果的運営の検討・実施	取組年度 (2018~)
	・令和5年3月に『第3次和光市図書館サービス計画』及び『第4次和光市子ども読書活動推進計画』を策定した。 また朝霞地区四市図書館連絡会において情報交換を行った。 【次年度以降に向けた展望・課題】カウンター職員、事務室職員相互に業務を分担し図書館を運営していく。	
	(2) 職員の資質の向上	取組年度 (2018~)
	・職員と市内小中学校の図書館アドバイザーを対象とする職員専門講座『学校図書館の楽しいPOPの書き方』を開催した。また図書館職員対象の外部研修にも積極的に参加した。コロナ禍のため、Zoomを使用した研修などが多かったが、複数人が同時に受講することができた。 【次年度以降に向けた展望・課題】今後も必要な研修を実施する。	
	(3) テーマ展示の定期的な開催	取組年度 (2018~)
	・毎月のテーマ展示に加え、芥川賞・直木賞・本屋大賞といった賞の発表後に関連本の展示や、著名な作家が亡くなったときは追悼特集などの展示を行い、利用の促進に努めた。 【次年度以降に向けた展望・課題】今後も展示による利用促進に努める。	
数値指標	(4) 図書館協議会による審議	取組年度 (2018~)
	・図書館協議会を3回開催し、第3次和光市図書館サービス計画及び第4次和光市子ども読書活動推進計画の策定に向けて内容を審議した。また、新型コロナウイルス感染症に伴う図書館の対応について説明した。	
	(5) 図書館の運営状況等の情報提供	取組年度 (2018~)
	・図書館要覧を作成した。図書館協議会の会議録についても引き続き公表し情報提供を行っている。 図書館ホームページを活用し「和光の教育」などの情報提供を行っている。	
	(6) 第3次図書館サービス計画の検討・策定	取組年度 (2021~)
	・第3次図書館サービス計画を作成した。計画を推進していく。	

取組内容	現状値(2016)	2018	2019	2020	2021	2022
貸出点数 (点)			406,000	406,000	406,000	406,000
			380,000	381,000	382,000	383,000
	371,986	405,288	412,282	366,006	426,864	412,814
		106.7%	101.5%	90.1%	105.1%	101.7%
レファレンス件数 (件)			10,000	10,000	10,000	10,000
			5,700	5,725	5,750	5,775
	5,670	10,216	11,114	9,332	10,161	7,760
		179.2%	111.1%	93.3%	101.6%	77.6%
入館者数 (人)					207,000	207,000
			297,500	298,000	298,000	298,000
			285,000	286,000	287,000	288,000
	272,546	297,040	286,429	172,617	214,759	220,244
		104.2%	96.3%	57.9%	103.7%	106.4%
図書館職員の研修参加延べ人数 (人)			104	106	108	110
			148	113	97	97
	102	148	113	97	97	79
		142.3%	106.6%	89.8%	88.2%	71.8%

評価	図書館による評価 (自己評価)	適切に行ってきている。職員の資質の向上については、コロナ禍での開催のため参加人数が限られてしまったが、リモート講義が定着して受講しやすくなった。学校図書館アドバイザーと合同の研修を行うなど、充実した内容で実施することができた。
	図書館協議会による評価 (外部評価)	評価コメント
	内容	(1)適切である (2)概ね適切である (3)不十分である